

70年蓄積した切削技術が強み。 新事業にも着手し未来を切り拓く

精密機械部品の加工で創業し、工作機械や治具・工具の開発も手掛けてきた仲精機。売上の7割は切削加工が占めるものの、マイクロメートル単位の精度が必要な高機能チャックやスピンドルなど自社商品へのニーズも年々高まっている。

大阪と岡山を主な生産拠点としつつ、令和6年からは山梨の富士サテライト工場に医療機器などの自動製造ラインを設けて新事業にも着手。「フレキシブルと独創」をテーマに、伝統は重んじながらも時代に応じた事業を展開中だ。

住所 | 〒570-0011 大阪府守口市金田町1-2-17
TEL | 06-6901-1875 FAX | 06-6905-8241
創業 | 昭和27年3月 設立 | 昭和42年6月
資本金 | 2,000万円 従業員 | 130名
HP | <https://www.nakaseiki.co.jp>

■主な事業内容
精密金属部品の加工、工作機械の製造販売、医療機器や自動車部品などの自動製造

■主な取引先（納品先）
機械部品メーカー、金属加工業、機械工具商社など



極み
高難度な
大物切削加工も可能。
他の追随を許さない自社商品

数年前から、内径部分の繊細な研磨技術が求められる大物切削加工に挑戦し、最大2mの切削が可能となった。高い加工精度を武器にハンドリングチャックやチャックスピンドル一体型の製品など、唯一無二の工作機械や治具・工具も積極的に開発している。

取り組み
独自のSDGs目標を設定。
地域に愛される企業へ

ISO14001/9001の取得や、ダイバーシティを尊重した職場づくり、毎年5%の温室効果ガス削減に向けた施策の実行など、SDGsに関連する企業努力を独自に推進。年に一度は守口市内の小学生による工場内見学を実施し、地域社会との交流も積極的に行っている。

今後の展開
高速回転と高トルクを
維持する、EVモーター
スピンドルを拡充

3万回転時でも高トルクを維持し、電気自動車のモーター試験に対応する中間軸スピンドルを令和3年に開発。5年を目処に販路拡大を目指す。自社での受注販売だけでなく、他社メーカーのカタログ掲載などを通して、更なるNAKAブランドの拡充を図っている。

仲精機株式会社



代表取締役
後藤 勝一さん

職人技と若手の発想力の融合。 強い組織で未来の機械技術を開拓

仲精機では昨年、経営企画室を新設。技術、総務、現場などの部門責任者と30代の若手社員数名を対象に、経営人材育成プログラムを始動しました。コロナ禍の経営難に接し、未来を担う人材育成の重要性を改めて感じたことがきっかけです。

組織横断的なプログラムにより、新規商品の開発やビジネス機会の創出にもつながっています。当社は、ビジネスモデルを柔軟に変化させながら成長してきました。70年以上蓄積した先人の技術は守りつつ、若い世代の独創的な視点も取り入れながら、全社一丸で未来の機械技術を切り拓いてまいります。



新型エアチャック

WEBサイト



富士サテライトで自動化装置製作



若い加工者が機械加工で活躍中

ポイント 福利厚生・働く魅力 職場環境

教育制度の充実で
技をマルチに習得
ユニークな施策も



20代から60代まで幅広い、同社の社員構成。定年を迎えた社員のほとんどが65歳までの再雇用を希望しており、会社の継続的な技術継承を支えている。一方で、技術継承を受ける側の若手社員育成にも注力。岡山工場から大阪本社への派遣研修による旋盤加工技術の習得や、複数の現場業務を経験できるジョブローテーションを通じて、「プロフェッショナルかつ多能工」な人材育成を目指す。

守口の本社では健康経営の一環として、オフィスで健康的な食事を提供するサービス「OFFICE DE YASAI」をいち早く導入。月に一度選出されるMVP社員と経営陣との懇親会を各拠点で開催するなど、トップと現場の距離が近い点も特徴だ。